



工期を厳守し、価格の割り増しを防ぐ トップクラスの建設業者として

在来工法による一般住宅の建築・販売をはじめ、官公庁からの水路・設備・土木工事も請け負う「安達建設株式会社」。福岡県の建設業者の中でもトップクラスに位置付けられる同社は、その実績から、大規模な宅地造成を手掛けることが多く、数多くの分譲住宅を提供するなど、地域における貢献度も高い。平成十三年一月からは、約四四区画を一齐に販売しているという。「工期を守り、受け渡し金額の割り増しは決して致しません」と語る安達全会長に、俳優の山下規介さんがお話を伺った。



代表取締役会長
安達 房夫

福岡県出身。学業修了後、久留米の建設会社で10年間修業。その後、昭和38年に筑後に移り独立する。昭和41年12月「安達建設」を創業。平成2年2月に株式化を果たす。平成8年に代表権を長男に譲り、会長職を務める。趣味はゴルフ。

山下 こちらの業務内容をお聞かせ下さい。
安達 元々、在来工法による一般住宅の建築・販売のみを行っていたのですが、現在は住宅に加え、三溝町の指定工事事も受注していますね。水道・設備・土木

工事などを直接入札しているのですよ。お陰様で今は、順調にお仕事を載けている状態です。
山下 幅広く展開されているようですね。
安達 ええ。先頃も土木方面で4億円規模の宅地造成を行いまして、平成13年12月から、約44区画を一齐に販売しております。私自身、今の時代は売りやすい所から売るのが良いと考えていまし

て、建築も条件付にして土地を売り出しているのです。ありがたいことに、既に7名ほどのお客様がご予約して下さっています。

私共ではこれまでも、数多くの土地を分譲してきており、この辺りでは15世帯ほどの分譲地を10カ所ほど造成したのですよ。時には、売り出し日の朝早くからお客様が並ばれていたこともあり

ました。
山下 こちらの確かな仕事が窺えますね。大規模な造成をされる時など、人員の確保はどうされているのですか。

安達 当社の社員は全部で30名ほどいますが、大きな工事の場合は地元の業者と協力して、一体となって賄っております。

山下 順調にお仕事を進められていますか。
安達 今までは振り返ってみていかがですか。

安達 今は水道・設備・土木なども請け負えるまでになりましたが、元々は、自



宅地建物取引業（福岡県知事免許（3）11836号） 県知事許可（特-12）第65588号
土木建築設計施工

安達建設 株式会社

【本社】福岡県筑後市大字熊野 1240-39
TEL 0942-52-5038 FAX 0942-52-7420
【営業所】福岡県三溝郡三溝町大字西牟田 450-3
TEL 0942-65-1019



分の体一つから始めたのですよ。ですから、頼れる人もおらず、自己資金も少なかったので非常に大変でしたね。
山下 そうした中で、今日の成功を勝ちとられた要因は何ですか。

安達 まず、決めた工期にきちんと終わらせること。そして、一度金額を決めた以上、値上げは絶対にしないことです。この2つを信念としてきたことが、お客様の信頼を得たのだと思います。

中でも価格に関しては、材料費や経費の値上げから、最終的にお客様に請求する金額に変動がおきないように常に努力しているのです。石油ショックの頃でも、当時、現金で材料を仕入れるようにしていましたから、材料の単価の値上がりで、仕上がり時の金額が増すというような迷惑をお客様にかけたことは一度もありませんでした。また、トラックだけでも10台保有していましたから、車に入れるガソリンが不足しないように、この辺りの大きな倉庫を購入して、ガソリンを自社で確保していたくらいなのです。

山下 常にお客様の立場で考えることが大切なのですね。ところで、現在はご子息が代表権を持っておられるようですが。
安達 ええ。伝えるべきことをきちんと

伝えるためにも、早めに譲渡したほうが良いと考えたのです。ですから、1日でも早く仕事を覚えてもらうために、長男に代表権を譲った今も、一緒に働いているのですよ。

山下 2代目として、ご子息が力をつけておられるというのは非常に頼もしいですね。では最後に、今後の展望をお聞かせ下さい。

安達 現在、当社は土木建築業において、Aランクに格付けされています。これからも、そのランクを維持できるよう、2代目となる長男には、年間の売り上げ目標を常に達成できるように頑張ってもらいたいですね。

また建築は1人ではできない仕事です。ですから、共に仕事をしている社員たちとの和を、何よりも大切にしていきたいと思っています。

山下 本日はありがとうございました。これからも頑張ってください。

▼経営者は常に自社のポジションをチェックしておく必要がある。建設業者にとって、その目安となるのが「経営事項審査」によるランク付けである。これは、完工高・経営分析・技術資格者といった5つの項目で構成されており、Aから順に5つにランクに分けられている。無論、発注金額もそのランクごとに高低の差が存在する。
▼昭和41年に創業された「安達建設株式会社」は現在、この「経営事項審査」でAランクに位置付けられている優良企業。そんな同社をわずか一代でAランクにまで押し上げたのが安達全会長である。会長は「お客様との約束ごとを必ず守るという信念を持ったことが、ここまで勝ち抜いてくれた要因です」と語る。
▼価格が安定しない時代、材料費、経費の変動から、客の支払い金額が後で増加することが多かった。それを避けるための努力を惜しまなかったという安達全会長。その誠実な人柄が、共に働く社員にも伝わり、全社一丸となって取り組んだ結果、今日の成功を掴んだのだ。
▼現在、安達全会長は現在の格付けを維持すべく、2代目となる長男に、その経営ノウハウの全てを伝えている。2代目の新体制のもとで、「安達建設株式会社」は更なる躍進を遂げることになるだろう。そんな同社の今後に大いに期待したい。



山下 規介 (俳優)

「裸一貫から始められて「安達建設株式会社」を福岡でもトップクラスの建設業者に成長させた安達全会長ですが、お客様を思いやる心や、社員を大切にすることを決して厭うことのない、温かい人柄が窺えます。そんな会長と共に働く2代目社長のご子息にも、確実にその経営スタイルが受け継がれていくことでしょう。同社の今後の活躍を大いに期待しております」